

- スズキ、「ワゴンR」「アルト」「アルトラパン」「パレット」・日産OEM「ルークス」・マツダOEM「キャロル」「AZワゴン」の軽四駆車7モデルの4WD車について、リヤ車輪速センサーに不具合があるとしてリコール 08年1月9日～10年11月2日に生産した4WDモデル12万6171台
リヤ車輪速センサーの樹脂材質が不適切な為、樹脂が吸水することがある。その為、センサー内部の電子部品がショートし、センサーが異常な信号を出力して、ABS警告灯が点灯して機能が停止または、速度計が作動しなくなる恐れがある。
- ホンダ、「フリード」等計11車種のタカタ製エアバッグのインフレーターに不具合があるとしてリコール 13年1月7日～同年12月27日に生産した11万3362台
助手席用エアバッグのインフレーター(膨張装置)ガス発生剤が、環境温度や湿度変化の繰り返しにより劣化することがある。その為、エアバッグ展開時にインフレーター内圧が異常上昇して、インフレーター容器が破損する恐れがある。
- FCAジャパン、ジープ「チェロキー」のトランスミッションセンサー配線等に不具合があるとしてリコール 14年4月4日～同年10月30日に輸入した1445台
動力伝達装置にあるトランスミッションセンサー配線の製造及び、トランスミッションコントロールモジュールのプログラムが不適切な為、配線の電気抵抗が増加し、ミッションギヤが正しく制御できないことがある。その為、走行中に警告灯が点灯し、意図せずにギヤがニュートラルとなり、最悪の場合、走行不能となる恐れがある。
- フォルクスワーゲングループジャパン及びアウディジャパン、VW「ゴルフGTI」・アウディ「Q5」等計6車種の高圧燃料ポンプに不具合があるとしてリコール
高圧燃料ポンプの設計が不適切な為、ポンプハウジングと燃料調圧バルブ間の密閉性が不足しているものがある。その為、高速走行時等にポンプ内の燃料圧力が高い際、燃料調圧バルブ取付部から燃料が漏れる恐れがある。 12年10月9日～14年9月10日に輸入した6752台
- 三菱自動車、「デリカD:5」「アウトランダー」「ギャラン」の補機駆動ベルト用オートテンショナーに不具合があるとしてリコール
08年3月20日～11年12月21日に生産した7万9208台。さらに交換修理用部品が組付けられた可能性がある、05年10月9日～08年6月18日に生産した503台、08年6月1日～14年1月31日に出荷された組付車両不明の部品、966個も対象。
エンジンの補機駆動ベルト用オートテンショナーにおいて、取り付けフランジ部の形状が不適切なことが発覚。その為、オートテンショナーのベアリングが経年変化で摩耗し、高負荷運転を繰り返し場合にフランジ部に亀裂が走り、破損。補機駆動ベルトが外れ、ステアリング操舵力が増大するとともに、バッテリー上がりやオーバーヒートに至る恐れがある。
- 三菱自動車、「アウトランダーPHEV」「アウトランダー」「デリカ」「RVR」の後輪ブレーキキャリパーに不具合があるとしてリコール
後輪ブレーキキャリパーの具体的な不具合箇所は、駐車ブレーキ駆動用シャフトのブーツと、ブレーキキャリパー内部のピストン。ブーツについては、シール性能不足によりシャフト部に水が浸入し、シャフトに錆が発生することがある。またピストンについては、製造工程での検査不良により検査規格を外れたものが流出。ブレーキパッドの摩耗が進行しても、ブレーキパッドとブレーキディスクの隙間が自動調整されないものがある。いずれも駐車ブレーキの制動力が低下し、駐車中の車両が動き出す恐れがある。 12年7月2日～16年2月1日に生産した9万2307台
- フォルクスワーゲングループジャパン、「ゴルフヴァリアント」等計4車種のリヤコンビネーションランプに不具合があるとしてリコール
リヤコンビネーションのバルブホルダーの設計が不適切な為、走行振動等により接触不良が発生することがある。その為、警告灯が点灯し、ブレーキランプ及びテールランプが点灯しない恐れがある。 13年10月21日～17年6月3日に輸入した1万8686台
- いすゞ自動車、「ギガ」のエンジンに不具合があるとしてリコール 10年5月27日～13年5月28日に生産した1万3471台
ピストン燃焼室壁部に燃焼による熱と圧力が繰り返し作用し、そのダメージが蓄積して亀裂に至るものがある。その為、そのままの状態で使用を続けると、ピストン燃焼室壁部の亀裂が進行して穴が開き、最悪の場合、エンジンの出力低下及び白煙排出により、走行不能に至る恐れがある。尚、今回のリコールは、2014年5月29日付けで届け出たリコールについて、新たな原因が判明し、これまでの対策が不十分であったことから、再度届出を行うもの。
- BMWジャパン、「118i」等計7車種のメーターパネルコントロールユニットに不具合があるとしてリコール 17年6月21日～同年10月6日に生産した2375台
メーターパネルコントロールユニットのプログラムが不適切な為、エンジン始動後、メーターパネルに画像が映らないことがある。その為、速度計及び警告灯等が表示されない恐れがある。
- トヨタ自動車、「アルファード」「ヴェルファイア」「プリウス」「シエンタ」「ノア」「ヴォクシー」等計13車種のエアバッグセンサーに不具合があるとしてリコール
エアバッグ制御システムの加速度センサまたは圧力センサ内ICチップの製造条件が不適切な為、IC内部で断線することが判明。その為、エアバッグ警告灯が点灯し、エアバッグが正常に作動できない恐れがある。 15年5月20日～16年1月7日に生産した9万1210台
- メルセデス・ベンツ日本、「GLC250 4MATIC」「GLC200」「GLC200クーペ」ヘッドライト(ロービーム)に不具合があるとしてリコール
ロービーム光軸調整機器のプログラムが不適切な為、光軸調整が適切に行われていないものがある。その為、光軸の向きが保安基準に適合しない恐れがある。 15年8月6日～17年8月28日に輸入した4627台

